

MLP マンスリー  
2023年10月の  
MLPの動きをザックリご紹介

2023年11月8日

## 当月のS&amp;P MLP 指数の動き

10月のS&P MLP 指数(米ドルベース/トータルリターン)は、前月末比-0.4%と5か月ぶりの下落となりました。

月初は、米国における金融引き締め長期化観測を受けた長期金利の上昇、そして原油価格の下落などが嫌気され、MLPは下落しました。その後は、複数の米地区連銀総裁から追加利上げに否定的な見解が示されたことなどが好感され米国株式が上昇基調となる中、MLPも上昇し、S&P MLP指数が19日に年初来高値を更新しました。しかしながら、月末にかけては、米長期金利の上昇や中東情勢の緊迫化などを背景に、米国株式が下落基調となったほか、MLPも下落する展開となりました。

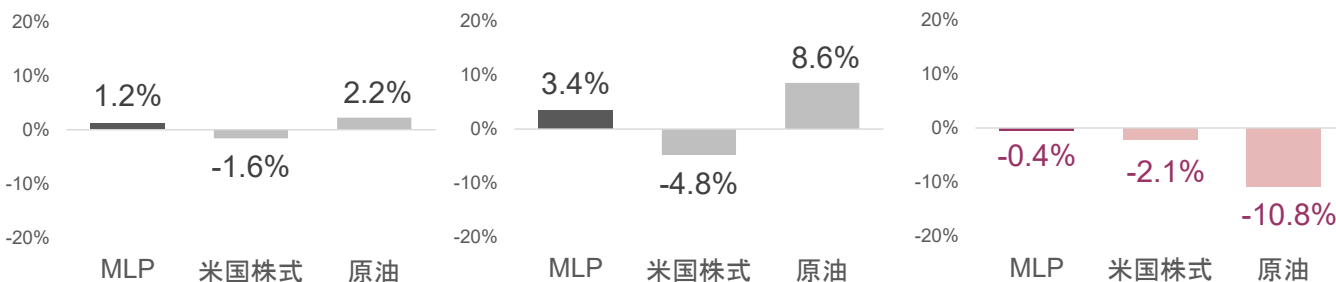
## 過去3か月の主要指標の月次騰落率

(米ドルベース、トータルリターン)

## 2023年8月

## 2023年9月

## 2023年10月



MLP:S&amp;P MLP 指数、米国株式:S&amp;P 500 種指数、原油:WTI

## 主要指標の動き

休場の場合は、直前の営業日のデータを使用	指数値	指数値	指数値	指数値	騰落率		
	当月末	前月末	3か月前月末	前年末	前月末比	3か月前月末比	前年末比
	2023/10/31	2023/9/30	2023/7/31	2022/12/31			
<b>S&amp;P MLP 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	7,132.33	7,162.25	6,840.14	6,010.58	-0.4%	4.3%	18.7%
プライスリターン	1,461.03	1,485.69	1,437.00	1,326.34	-1.7%	1.7%	10.2%
<b>S&amp;P 500種 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	9,052.31	9,246.74	9,866.77	8,178.02	-2.1%	-8.3%	10.7%
プライスリターン	4,193.80	4,288.05	4,588.96	3,839.50	-2.2%	-8.6%	9.2%
<b>S&amp;P 500種 エネルギー株指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	1,434.48	1,525.61	1,460.04	1,438.86	-6.0%	-1.8%	-0.3%
プライスリターン	652.01	694.19	668.98	672.34	-6.1%	-2.5%	-3.0%
<b>S&amp;P 米国 REIT 指数(米ドルベース)</b>							
トータルリターン	1,390.43	1,453.26	1,607.44	1,482.22	-4.3%	-13.5%	-6.2%
プライスリターン	281.93	295.09	329.43	310.67	-4.5%	-14.4%	-9.3%
<b>米国ハイイールド債(ICE BofA 米国ハイイールド・インデックス(米ドルベース))</b>							
トータルリターン	1,467.03	1,485.42	1,498.62	1,401.68	-1.2%	-2.1%	4.7%
プライスリターン	63.68	64.84	66.13	64.21	-1.8%	-3.7%	-0.8%
<b>米国10年国債利回り</b>							
	4.93%	4.57%	3.96%	3.87%	0.36	0.97	1.06
<b>原油(WTI) 米ドル/1バレル当たり</b>							
	81.02	90.79	81.80	80.26	-10.8%	-1.0%	0.9%
<b>天然ガス先物 米ドル/百万btu当たり</b>							
	3.58	2.93	2.63	4.48	22.1%	35.7%	-20.1%
<b>米ドル(対円)</b>							
	151.68	149.37	142.29	131.12	1.5%	6.6%	15.7%

※「米国10年国債利回り」の騰落率は、変化率(%)ではなく、利回りの変化幅を示しています。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

## 当月の出来事いろいろ

- 4日に発表された9月の民間集計の米雇用者数が予想を大きく下回り、前月比で減少した2021年1月以来の低水準となった。原油先物は、米雇用者数の下振れに加え、ロシアが燃料輸出の禁止措置を一部緩和する可能性があるとの報道などを受け大幅に反落した。5日、世界的な景気減速に伴うエネルギー需要の鈍化懸念などから原油先物は続落し、WTIが1バレル＝82米ドル台となった。
- 7日、パレスチナ自治区ガザを実効支配するイスラム組織ハマスが、イスラエルをロケット弾で砲撃し、戦闘員を潜入させ、市民らを人質として連れ去った。これに対し、イスラエル軍が反撃するなど、戦闘が続くこととなった。中東情勢の緊迫化により、原油の供給に影響が出るとの懸念から、9日に原油先物が急伸した。
- 13日、中東で、イスラエル軍がハマスに対して限定的な地上攻撃を実施したほか、ガザ北部の住民に退避勧告を行なったことなどを受け、本格的な地上戦に発展する可能性が懸念された。原油先物が急反発したほか、投資家のリスク回避の動きが拡がり、金や欧米の国債が買われた。
- 19日、パウエル米FRB(連邦準備制度理事会)議長は講演で、インフレ率が依然高過ぎるとして、金融引き締めを継続する意向を示したほか、一段の利上げが正当化される可能性に言及した。その一方で、市場金利の上昇が続く場合、利上げと同様の効果をもたらすとの見方を示したほか、不確実性とリスクなどを踏まえ、政策運営を注意深く進めると述べた。国債利回りが上昇し、10年債では一時5%を上回り、2007年7月以来の高水準となった。米国の株式相場は続落した。
- 23日、中東情勢を巡って、米政府がイスラエルに対して地上侵攻の延期を求めたと伝わり、軍事衝突がすぐには激化しないとの見方から、原油供給に対する懸念が後退し、原油先物が24日にかけて下落した。

## 今後の注目点

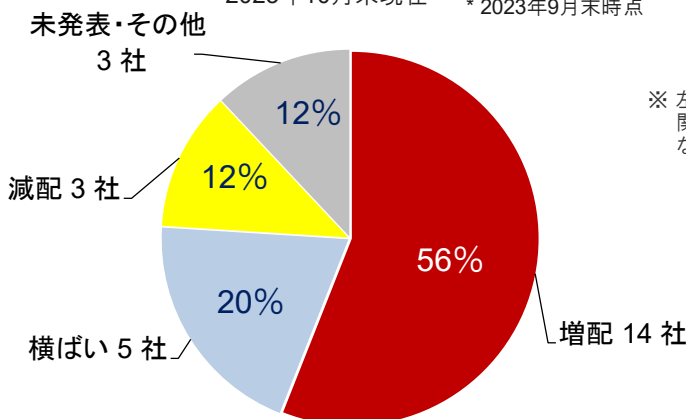
- 2023年7-9月期のMLPの決算発表が注目される。

## MLPの分配金動向

MLP各社は決算発表に先立ち、その期の分配金を発表するのが一般的です。10月から公表が始まっているMLPの2023年7-9月期の分配金は、10月末現在で、指数構成銘柄(25銘柄、2023年9月末時点)のうち、**22社の発表が終了しており、前年同期比での増配が14社、横ばいが5社、減配が3社**となっています。

<S&P MLP 指数の構成銘柄\*の分配金額(前年同期比)の動向>

2023年10月末現在 \* 2023年9月末時点

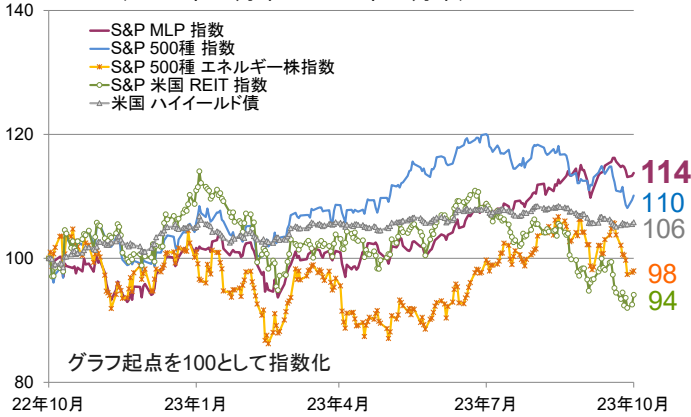


※ 左記の数値は四捨五入の関係で合計が100%とならないことがあります。

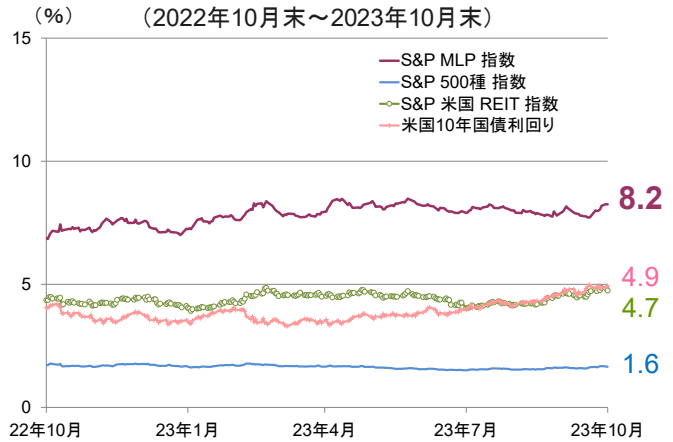
(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

※ 上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。

■過去1年の指数の推移 (米ドルベース/トータルリターン)  
(2022年10月末～2023年10月末)



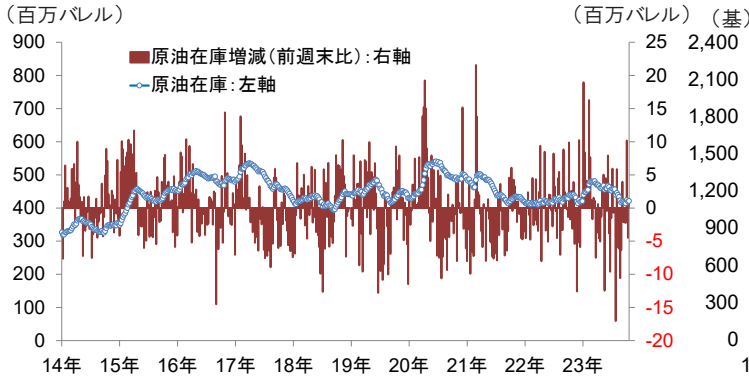
■過去1年の各資産の利回り  
(2022年10月末～2023年10月末)



※各資産のリスク特性はそれぞれ異なるため、利回りだけで比較できるものではありません。  
 ※上記利回りは切り捨てにて端数処理しています。  
 ※各指数に関する著作権・知的財産権その他一切の権利は、当該指数の算出元または公表元に帰属します。

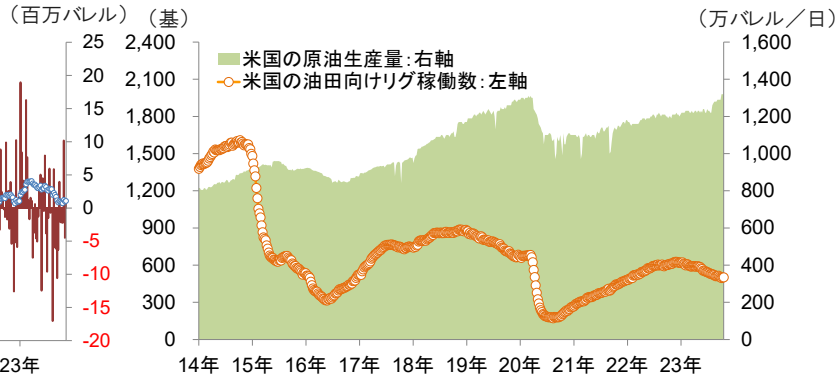
■米国の原油在庫

(2014年1月第1週末～2023年10月第3週末)



■米国の原油生産量と油田向けリグ稼働数

(2014年1月第1週末～2023年10月第3週末)



原油価格は、原油需給の影響を大きく受けます。一般的に、原油在庫が増えれば(減れば)、需給緩和懸念(引き締め期待)から、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。また、油田向けのリグ稼働数が増え(減り)、原油生産量が増える(減る)と、需給緩和懸念(引き締め期待)などから、原油価格は下落(上昇)する傾向がみられます。

■原油価格と米ドル指数\*

(2014年1月初～2023年10月末)



原油は、米ドル建てで取引されることから、米ドル相場の影響を受ける傾向がみられます。米ドル安基調に振れる場合、割安感などにより、原油価格に押し上げ圧力が働く可能性が考えられることから、米ドル相場の動向には注視が必要です。

(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)  
 ※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。